

かれており、ある意味、そのいい加減さが心地よい。明治の終わりから大正の時代が、民主主義の息吹が感じられる明るい時代として描かれていることと無関係ではないのだろう。そうした時代背景のなかで、クドカンは、若い女性がスポーツに目覚める姿を生き生きと描いた。女性の活躍は、今、政府が推進する法制度の整備だけで達成できるものではなく、「運動文化」を含む「文化」であることを明らかにしたといえるだろう。7月7日放送の人見絹江の話は高い評価を得ているようだが、彼女が日本初の女性メダリストとなったこともさることながら、ジャーナリストとして講演を重ね、偏見と闘っていたことに深い感銘を受けた。

今後、「国威発揚」といった「文化」とは程遠いものが頭をもたげる戦前昭和のオリンピックがどう描かれるのか、また、「お国のためにはならないが、若い者には励みになる」と言ってオリンピックの資金集めに奔走する、主人公(第二部)としては、ちょっとゲスな感じに描かれている田畑政治が、1964年東京オリンピックをどのように招致するのか、時代の空気感の描き方も含めて楽しみである。

>>次号は、2学期「マーケティングの基礎」、3学期「マーケティング演習」講師 細井謙一先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

福居先生おすすめの書籍です。



『平成経済 衰退の本質』金子 勝著、岩波新書

バブルとバブルの崩壊から始まった平成時代。マクロ経済政策も、構造改革も、「失われた二〇年」を克服できないどころか、症状を悪化させてきた。セーフティーネット概念の革新、反グローバリズム、長期停滞、脱原発成長論などをキー概念に、一貫して未来を先取りした政策提案を行ってきた著者による三〇年の痛烈な総括。

◇2019年度 2学期 新規科目のご案内◇

■「[原価計算論の基礎](#)」

講師：経営学部 経営学科 准教授 藤原久嗣

会計の基礎的理解の上、原価計算の基礎を開設します。コストの視点から経営管理のあり方を考えます。経

営知識のない方やシステム開発に携わる方にもおすすめです。

★10月21日(月)開始(毎週月曜日全6回)

■「[ケーススタディから鍛える経営判断力](#)」

講師:経営学部 経営学科 教授 松川佳洋

企業は、常にチャンスとリスクに直面しています。その時々において企業はどのような経営判断をしてきたのでしょうか?それをケース(事例)から学んでいきたいと思います。

★10月17日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[デジタルマーケティング入門](#)」

講師:メディアビジネス学部 ビジネス情報学科 助教 関隆教

デジタル社会におけるマーケティング・マネジメントに関する初歩的な知識やその背景にある理論を学びます。

★10月18日(金)開始(毎週金曜日全6回)

カルチャー講座

■「[日本文学と漢詩文～日本文化に潜む漢詩文の痕跡を文学から探る～](#)」

講師:教養教育部 教授 岡本恵子

日本文化に大きな影響を与えてきた漢詩文を取り上げ、それが具体的に影響を与えた日本文学を見ていきます。

★10月16日(水)開始(毎週水曜日全6回)

◎事務局から◎

2019年度、キャリアアップ・プログラム、カルチャー講座(2学期・3学期)受講申し込み受付中です!

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)